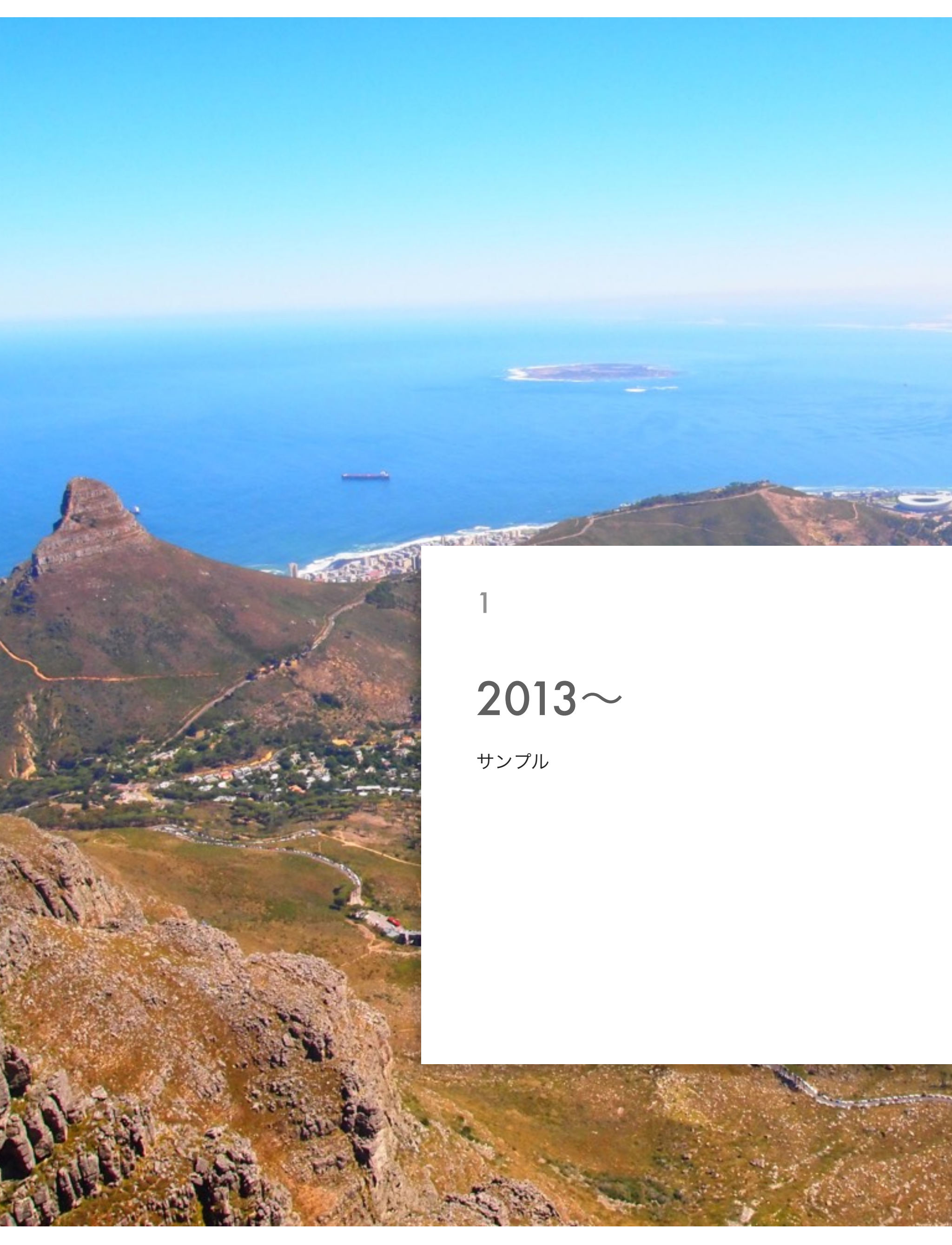




MALAWI WHERE I WAS

TATSUYA OYAMA



1

2013～

サンプル



21/MAY/2013

THE OCEAN OR THE LAKE?

マラウイ国土の4分の1を占めるマラウイ湖。僕の任地カロンガはその湖沿いの町だ。毎朝、湖から登る朝日を見て新しい日を迎える。

家から歩いて5分で湖に着く、、けど、やっぱり着かない。

「Muzungu～」

来た！いつものパターン。道を歩いていると必ずこれに捕まる。村の子供達が僕を見て、声をかけてくる。Muzunguとは日本語にすると外国人という意味で、肌の白い人いわゆる白人を意味している。僕はアジア人だけど、彼らマラウイアンから見ると同じ扱いなのだろう。僕は子供が大好きなので必ず立ち止まってしまう。これが良いのか悪いのか。

「おう！元気か？」

現地語をだいたい覚えた僕にとって日常会話はどうってことない。僕が現地語を話すと、これまたウケるみたい。

「外国人が僕らの言葉しゃべったー!？」

こうなってはもう止まらない。軽く相手をしてあげるつもりが軽くなれないのがマラウイ。

「どこ行くの？ねえ、どこ行くの？」

次から次へと子供達が増えてきて、最初2人だったのが8人にもなる。こっちも大変。湖沿いでまったりするはずが。。

結局、湖に着くまで30分かかり、子供達とお別れするために何度バイバイを言ったことか。この人懐っこさが好きではあるんだけど。目の前のものに興味津々な眼差し、一切の曇りが無い笑顔。マラウイの子供達ってほんとキラキラしてる。誰もランドセルなんて持ってないし、たまに靴も履いていない。貧乏だから。でもあんなに笑顔に溢れているのは何故だろう。そんなことも考えてみたり。

やっと着いた、マラウイ湖。世界遺産としても有名だけど、実はマラウイ湖の3%だけっていう。ちなみにこの辺の湖は世界遺産ではないみたい。そうだよ。マラウイアンが普通に選択してたり、自転車や自分の体洗ってるもん。世界遺産で入浴、なんてそんな贅沢はできません。

僕の知っている湖は地元釧路の春採湖くらいだから、このマラウイ湖を目の前にすると海と間違えてしまう。だって、広さが尋常じゃないんだから。もう海だよ。波はあるし、海風(?)はあるし。でも不思議と磯の香りはしないんだよね。そうか、湖だから。波打ち際でバシャバシャやりたいけど、僕らJICAの人間は禁止。住血吸虫がいるからって理由で本部からNGが出ています。んなの関係ない!って言いたいけど、ルールはルール。従わなくてははいけません。

しばらく湖沿いを歩いていると面白いものが目に飛び込んできました。ん?丸太、、の船?これ、歴史の教科書で弥生時代とかの人たちが使ってたやつだよ。日本では博物館とかに展示されてるものがマラウイでは日常で使われています。この船、マラウイアンはカヌーって呼んでるものは実際に湖で漁をする漁師の商売道具。



ここはいったい何時代なんだ？ってなるような光景を目の当たりにして、日本もこうやって少しずつ時代を重ね、発展してきたんだなって思った。けど、現在は2013年ですが。

マラウイアンにはモーター付きの漁船は必要ないみたい。このカヌーでも十分なんだろうな。でも、横波受けて転覆とかするんだろうな。そんなときどうするんだろう？ライフジャケットもないのに。そんな心配が頭をよぎるが、彼らはなんとかするんでしょう。だって生きる力持ってるし。日本人よりも何倍も強い。人として生きる力の強さを感じる。

この海みたいなマラウイ湖。風を感じながら思ったこと。

「やっぱ、僕は海のない国じゃ暮らせない」

田舎の港町で生まれ育った僕にとって海は身近なもの。釣りしたり、遊んだり、BBQしたり。海の魚も美味しいし！って考えるとマラウイ湖ってやっぱ湖なんだなって思う。

これから2年ここに住むけど、ごめん、海が恋しい。